

家族類型について

平成 26 年 3 月 24 日

第4回 下関市子ども・子育て審議会

1 家族類型の算出方法

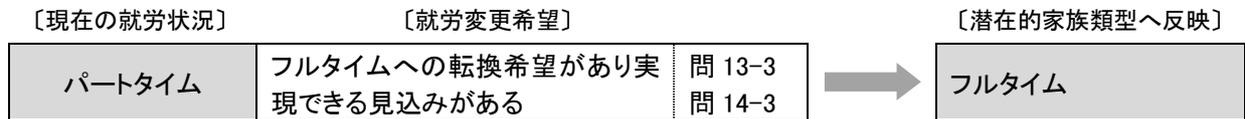
量の見込みを算出するための基本となる家族類型は、下記の通り算出している。

タイプ	家庭類型 (父母の有無と就労状況)	算出方法	
タイプA	ひとり親家庭	回答者(父母)に「配偶者がいない」と回答	問 10
タイプB	フルタイム×フルタイム	両親の就労状況がともに「フルタイム」	問 13 問 14
タイプC	フルタイム×パートタイム	・両親の就労状況が「フルタイム」と「パートタイム」 ・「パートタイム」の親の就労時間が 120 時間以上/月 ・「パートタイム」の親の就労時間が 52～120 時間/月であり、保育事業の利用希望がある	問 13 問 14 問 13-1 問 14-1
タイプC'	フルタイム×パートタイム	・両親の就労状況が「フルタイム」と「パートタイム」 ・「パートタイム」の親の就労時間が 52～120 時間/月であり、保育事業の利用希望がない ・「パートタイム」の親の就労時間が 52 時間未満	問 13 問 14 問 13-1 問 14-1
タイプD	専業主婦(夫)	両親のどちらかが就労していない	問 13 問 14
タイプE	パートタイム×パートタイム	・両親の就労状況がともに「パートタイム」 ・就労時間が 120 時間以上/月 ・就労時間が 52～120 時間/月であり、保育事業の利用希望がある	問 13 問 14 問 13-1 問 14-1
タイプE'	パートタイム×パートタイム	・両親の就労状況がともに「パートタイム」 ・就労時間が 52～120 時間/月であり、保育事業の利用希望がない ・就労時間が 52 時間未満/月	問 13 問 14 問 13-1 問 14-1
タイプF	無業×無業	両親ともに就労していない	問 13 問 14

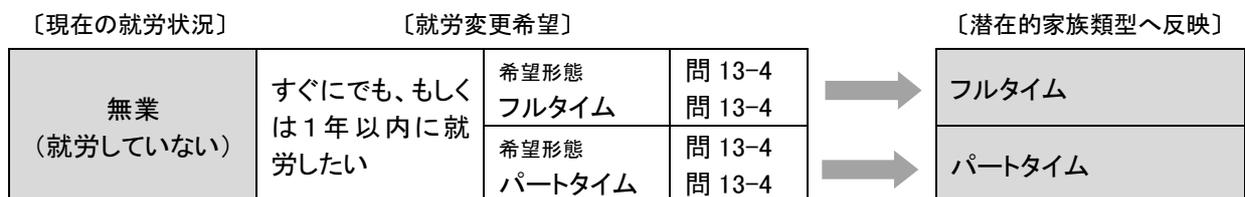
2 潜在的な家族類型の算出方法

父母の今後の就労変更希望(パートタイムからフルタイムへの転換見込み、無職の父母の1年以内の就労意向)を反映し、潜在的な家庭類型を算出している。

量の見込みの算出は潜在家庭類型に基づき行う。



例) 現在家族類型 C(パートタイムの母親がフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある)→家族類型 Bへ



例) 現在家族類型 D(就労していない母親が1年以内にパートタイムへの就労希望がある)→家族類型 Cへ